

教科	国語科	学年	第6学年
----	-----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
言葉で伝え合おう					
自分に質問してみよう	2	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のことを客観的に捉えて話す。 ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付く。 ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。 ○話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考える。 ○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。 ○意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に自分のことを客観的に捉え、今までの学習を生かして質問について考えようとしている。
風景 純銀もざいく	1	<ul style="list-style-type: none"> ○繰り返しの響きや意味に気をつけて音読し、言葉の意味を考える。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。 ○比喩や反復などの表現の工夫に気付く。 ○文章を音読したり朗読したりする。 ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える。 ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする。 ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。 ○文章を音読したり朗読したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで言葉の意味を考え、繰り返しの響きや意味に気をつけて音読しようとしている。
あの坂をのぼれば	2	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉の意味に気をつけて音読し、言葉の意味を考える。 ○文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。 ○文章を音読したり朗読したりする。 ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える。 ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。 ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで言葉の意味を考え、学習の見直しをもって音読しようとしている。
図に表して考えよう	3	<ul style="list-style-type: none"> ○考えや意見を図に書いてまとめる。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。 ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。 ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする。 ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○粘り強く伝えたいことを明確にし、学習の見直しをもって考えや意見を図に書いてまとめようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
一 筆者のものの見方や感じ方などにふれ、随筆に親しもう 春はあけぼの	3	<p>◎自分に重ねながら随筆を読み、それを参考に、自分のものの見方や考え方を深め、経験したことなどを表現を工夫して書く。</p> <p>○『枕草子』の文章にふれ、リズムや響きを味わいながら音読し、『枕草子』ふうの文章を書く。</p> <p>○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。</p> <p>○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。</p> <p>○親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむ。</p> <p>○古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知る。</p> <p>○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする。</p> <p>○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。</p> <p>○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる。</p>	<p>○親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。</p>	<p>○進んで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見直しをもって『枕草子』ふうの文章を書こうとしている。</p>
薫風 「迷う」	3	<p>○筆者のものの見方や感じ方などに触れ、随筆に親しむ。</p> <p>○文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。</p> <p>○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。</p> <p>○事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する。</p> <p>○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりする。</p> <p>○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする。</p> <p>○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。</p> <p>○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる。</p>	<p>○文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。</p>	<p>○「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。</p> <p>○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。</p>	<p>○積極的に随筆の特徴について理解し、今までの学習を生かして、者のものの見方や感じ方などに触れ、随筆に親しもうとしている。</p>

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
随筆を書こう	5	<ul style="list-style-type: none"> ○心を動かされたできごとから書く事柄を決め、随筆を書く。 ○話し言葉と書き言葉との違いに気付く。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使う。 ○文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。 ○比喩や反復などの表現の工夫に気付く。 ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする。 ○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える。 ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ○引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える。 ○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使っている。 ○比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。 ○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に随筆の特徴について理解し、学習課題に沿って心を動かされたできごとから書く事柄を決め、随筆を書こうとしている。
漢字の広場 ① 三字以上の熟語の構成	1	<ul style="list-style-type: none"> ○三字以上の熟語の構成について理解を深め、由来に関心をもつ。 ○当該学年までの配当漢字を読む。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見直しをもって熟語の由来に関心をもち調べようとしている。
漢字の広場 ① 五年生で学んだ漢字 ①	1	<ul style="list-style-type: none"> ○絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。 ○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。 ○当該学年までの配当漢字を読む。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。 ○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える。 ○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
二 筆者の考えを読み、説明の仕方の特徴をとらえよう		<ul style="list-style-type: none"> ○雪エネルギーの利用に対する筆者の主張と取り上げた事例の関係、残された課題などを検討しながら読み、筆者の説明の仕方や雪エネルギーの利用について考えをまとめる。 			

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
雪は新しいエネルギー	5	<ul style="list-style-type: none"> ○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。 ○原因と結果など情報と情報との関係について理解する。 ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。 ○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える。 ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ○事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する。 ○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりする。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。 ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報と情報との関係付けの仕方、語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりしているなど、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 ○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に雪エネルギーの利用に対する筆者の主張と取り上げた事例の関係、残された課題などを検討し、今までの学習を生かして、筆者の説明の仕方や雪エネルギーの利用について考えをまとめようとしている。
主語と述語の対応をみる	2	<ul style="list-style-type: none"> ○主語と述語の対応を確認して、文のねじれに気づき、正しく直す。 ○文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。 		<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に主語と述語の対応について理解し、今までの学習を生かして、文のねじれに気づき、正しく直そうとしている。
三 立場を決めて、主張を明確にしよう 地域の防災について話し合おう	6	<ul style="list-style-type: none"> ◎立場や意見をはっきりさせて話し合ったり、パンフレットを作成して伝えたりする。 ○意見の違いを大事にしながら話し合い、考えを深める。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。 ○日常よく使われる敬語を理解し使い慣れる。 ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。 ○話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考える。 ○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。 ○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。 ○互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○粘り強く意見の違いを大事にしながら話し合い、学習の見通しをもって考えを深めようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
パンフレットで知らせよう	4	<ul style="list-style-type: none"> ○相手や目的に応じて内容や構成を考え、パンフレットを作る。 ○話し言葉と書き言葉との違いに気付く。 ○文の中で語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。 ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。 ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする。 ○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える。 ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ○引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える。 ○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に相手や目的に応じて内容や構成を考え、学習課題に沿ってパンフレットを作ろうとしている。
雨	1	<ul style="list-style-type: none"> ○「雨」を扱った言語表現を集める。 ○語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く、共通語と方言の違いを理解する。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解する。 ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く、共通語と方言の違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○粘り強く「雨」を扱った言語表現を集め、学習の見通しをもって「言葉ノート」を作ろうとしている。
世代による言葉のちがひ	2	<ul style="list-style-type: none"> ○世代による言葉の違いについて理解し、相手や場面に応じて適切な言葉を選んで使うことができるようにする。 ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付く。 ○語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く、共通語と方言の違いを理解する。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解する。 ○互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く、共通語と方言の違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に世代による言葉の違いについて理解し、学習課題に沿って相手や場面に応じて適切な言葉を選んで使おうとしている。
漢字の広場 ② 複数の意味をもつ漢字	1	<ul style="list-style-type: none"> ○複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味に関心をもつ。 ○当該学年までの配当漢字を読む。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。 ○語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く、共通語と方言の違いを理解する。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く、共通語と方言の違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。 		<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味を考えようとしている。
漢字の広場 ② 5年生で学ぶ漢字 ②	1	<ul style="list-style-type: none"> ○絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。 ○文や文章の中で漢字を仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いなどに 	<ul style="list-style-type: none"> ○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度		
五 平仮名で字のなごり		<ul style="list-style-type: none"> ○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使分けられることにも、送り仮名や仮名遣いにも注意して正しく書く。 ○当該学年までの配当漢字を読む。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。 ○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える。 ○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文や文章の中で使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字が、文章全体の構成や展開を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字を用いて、学習課題に慣れ、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
四 すぐれた表現の効果を考え、登場人物の心情を読もう 川とリオ	7	<ul style="list-style-type: none"> ○優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み、優れた表現についての感想を話し合う。 ○比喩や反復などの表現の工夫に気付く。 ○文章を音読したり朗読したりする。 ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。 ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。 ○互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする。 ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える。 ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。 ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる。 <ul style="list-style-type: none"> ○言葉の広がりを感じながら、詩の世界を楽しむ。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。 ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(○文章を音読している。 <ul style="list-style-type: none"> ○思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 ○「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。 ○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 ○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み、学習の見直しをもって優れた表現についての感想を話し合おうとしている。 <ul style="list-style-type: none"> ○積極的に言葉の広がりを感じ、学習課題に沿って詩の世界を楽しもうとしている。
「知恵の言葉」を集めよう	1	<ul style="list-style-type: none"> ○生活の中で使われている知恵の言葉に気がつき、言葉の使い方への理解を深める。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。 ○原因と結果など情報と情報との関係について理解する。 ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。 ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。 ○原因と結果など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見直しをもって自分の「知恵の言葉」をつくろうとしている。
五 てんかいを考えて、表現を工夫して書		<ul style="list-style-type: none"> ○写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作る。 			

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
物語を作ろう	5	<ul style="list-style-type: none"> ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。 ○文の中で語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。 ○比喩や反復などの表現の工夫に気付く。 ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする。 ○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える。 ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ○引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える。 ○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文の中で語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に物語のつくりの特徴について理解し、学習課題に沿って写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作ろうとしている。
会話を広げる	3	<ul style="list-style-type: none"> ○相手とのつながりをつくる言葉の働きを意識し、相手との言葉の掛け合いの工夫を考える。 ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付く。 ○原因と結果など情報と情報との関係について理解する。 ○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。 ○互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に相手とのつながりをつくる言葉の働きを意識し、学習課題に沿って相手との言葉の掛け合いの工夫を考えようとしている。
漢字の広場 ③ 熟語の使い分け	1	<ul style="list-style-type: none"> ○意味のよく似た熟語の使い方の違いを理解し、使い分ける。 ○当該学年までの配当漢字を読む。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって意味のよく似た熟語の使い方の違いを理解し、使い分けようとしている。
漢字の広場 ③ 五年生で学んだ漢字 ③	1	<ul style="list-style-type: none"> ○絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。 ○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。 ○当該学年までの配当漢字を読む。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。 ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える。 ○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
一「心の世界」について考え、自分の考えを伝え合おう		<ul style="list-style-type: none"> ○友達と自分の感じ方の違いについて考える。 ○原因と結果など情報と情報との関係について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、学習課題に沿って友達と自分の

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
あなたはどうか感じる？	1	<ul style="list-style-type: none"> ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。 	使っている。	る。	感じ方の違いについて考えようとしている。
ほくの世界、君の世界	7	<ul style="list-style-type: none"> ○筆者の考えに気をつけながら、文章の要旨を捉え、「心の世界」について考える。 ○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。 ○文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。 ○原因と結果など情報と情報との関係について理解する。 ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。 ○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える。 ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ○引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ○事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する。 ○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりする。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。 ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○原因と結果など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで筆者の考えに気をつけながら、文章の要旨を捉え、自分の経験をふりかえりながら「心の世界」について考えようとしている。
「うれしさ」って何？——哲学対話をしよう	4 (話す聞く3・書く1)	<ul style="list-style-type: none"> ○お互いの考えや意見を関連つけて述べ合い、共通点や相違点をもとに分類する。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。 ○原因と結果など情報と情報との関係について理解する。 ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。 ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。 ○話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考える。 ○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。 ○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。 ○互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする。 ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○原因と結果など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話すこと・聞くことにおいて、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。 ○話すこと・聞くことにおいて、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的にお互いの考えや意見を関連つけて述べ合い、今までの学習を生かして共通点や相違点をもとに分類しようとしている。
言葉は時代とともに	5	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉がその時代の人々とともに変化してきたことを知り、自分の考えをまとめる。 ○古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知る。 ○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に言葉がその時代の人々とともに変化してきたことを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
		<p>○語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解する。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解する。</p> <p>○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使う。</p> <p>○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。</p> <p>○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。</p>			
二 説得力のある文章を書こう 自分の考えを発信しよう	6	<p>◎理由や根拠を示して、説得力のある意見文を書く。</p> <p>○話し言葉と書き言葉の違いに気付く。</p> <p>○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使う。</p> <p>○文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。</p> <p>○原因と結果など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。</p> <p>○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする。</p> <p>○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える。</p> <p>○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。</p> <p>○引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。</p> <p>○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える。</p> <p>○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。</p>	<p>○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>○「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。</p> <p>○「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。</p>	<p>○積極的に情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、学習課題に沿って理由や根拠を示して、説得力のある意見文を書こうとしている。</p>
漢字の広場 ④ 音を表す部分	1	<p>○形声文字について、音と意味、成り立ちも含めて理解する。</p> <p>○当該学年までの配当漢字を読む。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。</p> <p>○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使う。</p> <p>○語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解する。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解する。</p>	<p>○語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。</p>		<p>○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見直しをもって形声文字について、音と意味、成り立ちも含めて理解しようとしている。</p>
漢字の広場 ④ 五年生で学んだ漢字 ④	1	<p>○絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。</p> <p>○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。</p> <p>○当該学年までの配当漢字を読む。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書</p>	<p>○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。</p>		<p>○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
		<p>き、文や文章の中で使う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。 			
三 登場人物の変化を読み、自分の考えをまとめよう きつねの窓	8	<p>◎登場人物の心情の変化を考えながら読み、想像したことを書く。</p> <p>○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。</p> <p>○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。</p> <p>○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする。</p> <p>○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。</p> <p>○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える。</p> <p>○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする。</p> <p>○文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめる。</p> <p>○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる。</p>	<p>○思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめている。</p>	<p>○進んで登場人物の心情の変化を考え、学習の見通しをもって想像したことを書こうとしている。</p>
書評を書いて話し合おう	6	<p>○これまでに読んだ本の中から好きな本について書評を書き、紹介し合う。</p> <p>○話し言葉と書き言葉との違いに気付く。</p> <p>○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。</p> <p>○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。</p> <p>○文の中で語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。</p> <p>○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付く。</p> <p>○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。</p> <p>○話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考える。</p> <p>○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。</p> <p>○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。</p> <p>○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。</p> <p>○引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。</p> <p>○文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめる。</p> <p>○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる。</p>	<p>○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。</p> <p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめている。</p>	<p>○進んで書き表し方に着目して文を整え、これまでに読んだ本の中から好きな本について書評を書き、紹介し合おうとしている。</p>
敬意を表す言い方	2	<p>○話す相手や場面に応じて、敬意を表す言い方を適切に使い分ける。</p> <p>○日常よく使われる敬語を理解し使い慣れる。</p>	<p>○日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れている。</p>		<p>○積極的に語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って敬意を表す言い方を適切に使い分けようとしている。</p>

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
言葉と私たち	2	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉に対する自分の考えを書き、言葉への関心を持つ。 ○話し言葉と書き言葉との違いに気付く。 ○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。 ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。 ○話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考える。 ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする。 ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりする。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。 ○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○粘り強く論の進め方について考え、学習の見直しをもって言葉に対する自分の考えを書こうとしている。
漢字の広場 ⑤ 同じ訓をもつ漢字	1	<ul style="list-style-type: none"> ○異字同訓について理解を深め、関心をもつとともに正しく使い分ける。 ○当該学年までの配当漢字を読む。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。 ○語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解する。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見直しをもって異字同訓について理解を深め、関心をもつとともに正しく使い分けようとしている。
漢字の広場 ⑤ 五年生で学んだ漢字⑤	1	<ul style="list-style-type: none"> ○絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く ○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。 ○当該学年までの配当漢字を読む。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。 ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
四 伝記を読んで、人物の生き方について自分の考えをまとめよう 伊能忠敬	11	<ul style="list-style-type: none"> ◎伊能忠敬の生き方を考えたあと、興味のある人物の伝記を読んで、その人物を紹介する。 ○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文の中で語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の筋を正しく書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に原因と結果など情報と情報との関係について理解し、学習課題に沿って

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
		<p>感して正しく書く。</p> <p>○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使う。</p> <p>○文の中で語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。</p> <p>○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする。</p> <p>○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。</p> <p>○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える。</p> <p>○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする。</p> <p>○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。</p> <p>○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる。</p>	<p>この接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。</p>	<p>簡単に書いたり詳しく書いたりしていることにも、事実と感想、意見とを区別して書いたり表し方を工夫している。</p> <p>○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。</p>	<p>関係について理解し、学習課題に沿って、能忠敬の生き方を考えたあと、興味のある人物の伝記を読んで、その人物を紹介しようとしている。</p>
日本語の文字	2	<p>○日本語の文字の由来や特徴に関心をもち、適切に使い分けができる。</p> <p>○語句の由来などに関心をもち、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解する。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解する。</p> <p>○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いにも注意して書く。</p> <p>○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。</p>	<p>○語句の由来などに関心をもち、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。</p>	<p>○積極的に日本語の文字の由来や特徴を理解し、今までの学習を生かして適切に使い分けようとしている。</p>
漢字の広場 ⑥ さまざまな読み方	1	<p>○同形異語や熟字訓、同字異訓についての理解を深め、言葉の使い方に関心をもつ。</p> <p>○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いにも注意して正しく書く。</p> <p>○当該学年までの配当漢字を読む。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う。</p> <p>○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使う。</p> <p>○語句の由来などに関心をもち、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解する。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解する。</p>	<p>○思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使っている。</p>		<p>○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見直しをもって同形異語や熟字訓、同字異訓についての理解を深め、言葉の使い方に関心をもとうとしている。</p>
五 出会った言葉を振り返ろう ひろがる言葉	8	<p>○卒業を前に六年間の言葉の学びを振り返り成長を自覚するとともに、中学校での新しい言葉との出会いの希望を持つ。</p> <p>○話し言葉と書き言葉の違いに気付く。</p> <p>○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いにも注意して正しく書く。</p>	<p>○話し言葉と書き言葉の違いに気付いている。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝</p>	<p>○積極的に卒業を前に六年間の言葉の学びを振り返り、成長を自覚するとともに、中学校での新しい言葉との出会いの希望を持つ</p>

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度		
		<p>○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。</p> <p>○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。</p> <p>○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。</p> <p>○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。</p> <p>○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。</p> <p>○互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする。</p> <p>○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする。</p> <p>○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える。</p> <p>○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。</p> <p>○引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。</p> <p>○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える。</p> <p>○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。</p> <p>○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。</p>	<p>知識・技能</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>え合う内容を検討している。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。</p> <p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>○「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。</p>	<p>主体的に取り組む態度</p> <p>としている。</p>

… …… … …
…

